

ボックスガレージ 興建式プレハブ地下式車庫

特徴

1. 工場で製作された各ブロックを現地で組み立てるので短期間でガレージが出来上がります。
2. ガレージ上には盛土ができ、その上に木造二階建てが建築可能です。
3. シャッター、照明、スイッチ、コンセント、水道、棚用インサート等が使いやすく配置されております。
4. 機械施工が中心となるので、現場打ち工法に比べて大幅な省力化が可能です。

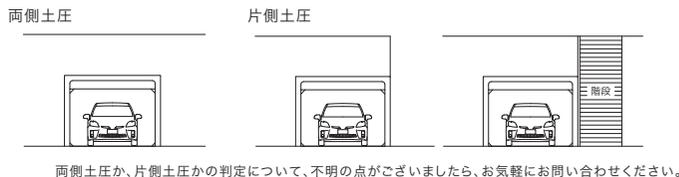


ボックスガレージ型式

ガレージ型式	間口寸法(m) 巾×高さ	奥行寸法(m)	※2 土被り(m)		適合車種 (参考)
			※1 両側土圧	※1 片側土圧	
III PaLS-T	3.0×2.0	T ₁ :5.5 T ₁₄ :12.0	3.5	2.3	1500cc クラス 2000ccクラス

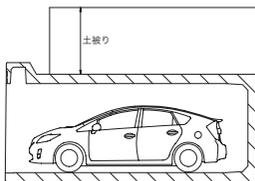
※1: 両側土圧、片側土圧

ガレージは設置条件により、両側土圧、片側土圧に分かれ、各々の状態は右図の通りになります。



両側土圧か、片側土圧かの判定について、不明の点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

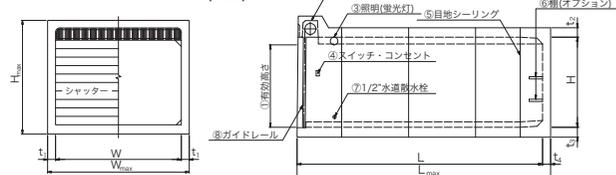
※2: 土被り



■ 構造および形状寸法

- ① シャッター
- ② シャッターケース
- ③ 照明(蛍光灯)
- ④ スイッチ・コンセント
- ⑤ 目地シーリング
- ⑥ 棚(オプション)
- ⑦ 1/2"水道散水栓
- ⑧ ガイドレール

バランスシャッタータイプ(T型)



(単位:mm)

型式名	W	H	L	Wmax	Hmax	有効高さ	Lmax	t1	t2	t3	t4
III PaLS-T	3000	2000	5500 12000	3380	2690	1830	5680 12180	190	210	220	180

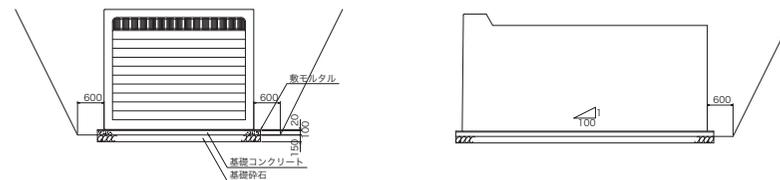
重量内訳

(単位:kg)

種別	先頭	中間		奥壁
	バランスシャッター 1.0m D'	1.5m B	1.0m B'	0.5m C
III PaLS	5,750	8,420	5,610	6,530

基礎工事歩掛

ボックスガレージの基礎構造は、両側土圧と片側土圧では異なります。下表に設置条件・型式別の歩掛を示します。



両側土圧の基礎歩掛

型式名	III PaLS					
	5.5(T ₁ 型)	6.0(T ₂ 型)	6.5(T ₃ 型)	7.0(T ₄ 型)	7.5(T ₅ 型)	8.0(T ₆ 型)
ガレージの奥行(m)	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0
砕石(m ³)	3.30	3.58	3.85	4.13	4.40	4.68
目つぶし砂利(m ³)	0.99	1.07	1.16	1.24	1.32	1.40
コンクリート(18N/mm ²)(m ³)	2.20	2.38	2.57	2.75	2.94	3.12

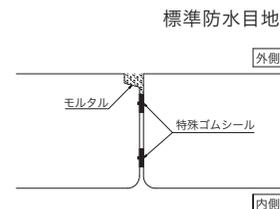
片側土圧の基礎歩掛は別途当社にお問い合わせ下さい

施工タタの注意事項

興建式ボックスガレージを施工する際には、下記の事項に充分注意して工事を行ってください。

■ 防水工事

下図に示すような防水目地で、工事を行います。



● お願い

ガレージの内面に水滴が付くことがあります。日中、できればシャッターを開けておくようにしてください。施工現場で特に湧水の多い場所では、ガレージ両脇に集水・水抜用パイプを、前面より最後まで通して充分に排水処理をしてください。

電気配線および水道配管工事

電気は、先頭ブロックの左右両側に配管が露出していますので、都合の良い方からリード線を通して蛍光灯へ、さらに蛍光灯からスイッチへ配線してください。なお、外部配管接続部は防水処理を施してください。水道も、左右両側にソケット1/2"が埋め込んでありますので、都合の良い方へ接続してください。電気、水道共、使用しない側の配管は穴埋めし、防水処理を施してください。

基礎工事

基礎コンクリート上面の高さは、計画高さより20mm程度(敷きモルタル厚)低く仕上げてください。なおかつ、上面には1/100程度の水勾配を付けてください。※注:基礎の詳細は当社にお問い合わせ下さい

組み立て工事

組み立て工事も、当社にて責任を持って行っております。本体・組み立て工事共、大野コンクリート(株)とご指名ください。

埋め戻し

埋め戻しは一度に多量の土砂を埋めず、何層かに分けて各層ごとに締め固めてください。特に、ガレージ側面は十分締め固めてください。※注:埋め戻し後、ガレージ上に重機等が乗らないように、注意してください。